



君師一體を知れ

中華時事の學風論に就て

一昨年の新文化運動當時は、學生が山東問題を以て罷課の運動、示威行列を爲し、其言議行動の突飛に於て且つ野蠻なりし爲め、日本の新聞は之を稱して學匪と號稱するに至れり。然れども支那には此學生風潮に對し、眞摯なる警告を與ふるもの一人もなく、寧ろ學生の運動を是認したり然るに學生をして爾かく放縱ならしめたる結果は、遂に學生の風潮をヨリ以上に悪化せしめ、京津を始じめ廣東武昌其他各地に於ける議員風潮、教科書反對試驗反對、演說徵收反對等を以て騒ぎ、殊に上海の一角の如き已に六七の事件を惹起するに至れり、教職員及學生の宣言なり通告文は毎日の紙上に登載せられざるはなき状態に在り、之が爲め十一月廿九日の中華紙は「天下の青年を誤り盡す者は誰乎」と題し、教育界の腐敗を列擧し、校長教員の人格學問なく、學生に對する威嚴を掃ふに加へて、教員生活手段の爲め青年に向つて迎合し、一に放任せしめたる爲めなりと云ひ、支那四千年の師道は、彼の支那社會を構成せる善良性情と俱に皆此輩皮相歐化の教育家の手に喪はる、痛まざるべけん」と論じし。

之に對し時事新報は教員の荒蕪は以前の事なり、以後は學生の放縱と云はざるべからず、學生風潮は必ずしも教員の荒蕪に由りて激せしむるものと見らるべからず、大半の原因は政治と社會の甚だしき暗黒に歸せざるべからず、政府は革命思想を抱き居るも、政府の命を革命能はざる爲め、勢ひ學校革命、家庭革命を叫ぶに至る、而して學校と學生關係は「授て受る」の關係となりて、商店に比擬せらるゝに至れり、青年は拘束を好まず、社會の腐敗と輿論の指導を惡しき今日、自然放縱せざる、故に社會と輿論も亦責任を負ふべく、責任全部を教職員に歸するは不公平にあらずやと駁せり。

中華紙は之に對し又反駁して青年の健全は皆教育者の咎とせしむるは本年は本來錯なしとて根本上より教育者を責めたるものにして、固より政治上社會上輿論上責任なしと云ふにあらずや、政治上は別として社會の影響は事實實際教育家自ら之を造るものあるにあらずやと云ひ、學生の學校に對する根本觀念に至りては學生對學校關係を共和國民對國家關係と見ず、家庭の個人對家庭關係に比せざる可なり、權の問題にして、乃ち以上の二論争は支那學生風潮の真相を窺知せしむると共に、又吾人をして支那に對する根本的勸告の念を興起せしめたり、蓋し中華子が支那四千年の師道を高調するに至りしごとく、時事紙が政治上社會上の暗黒を各理由ありと雖も、二子共に未だ支那固有の政教關係に觸れざる論旨と見ざるべからざればなり、今其理由を述べ、吾人をして少し説かしむべし、中華子が共和國民と國家關係を法律的とし、學生と學校關係を家庭的と爲し、然る二分し、學校對學生を家庭的と爲し、師道の地を掃へるを痛むるは、固より可なりと雖も、師道を高調するに就きざれば、師道は決して立つべからず、又學校は學生の爲め設くるを以て、主權學校に在りてと云ふが如き學生の觀念が起る最大原因は確かに時事が云ふ如く政治上社會上の影響なり、此政治上社會上の影響は何によりて起るか、説く迄もなく、支那民族性の華たる現代文化即ち形式を喪失せしめずして何んぞや、中華子が政治上の影響を避けて、社會上教育家自ら造る罪なりとするは、専ら教育家を責むる意味に於て構成せる文章として已むを得ざれども、政治上の影響を外にして師道を説くも、其論は要するに紫朱を奪ふの嫌あるを免れず尤も、時事子の政治上の影響論も亦斯文に本づきて學生風潮の原因を政治上社會上に在りてとせず非ならず、共和國家を前提とする所謂論れども此論を進むれば、共和政體の支那に非なることを是認することとなるを以て、吾人は教員の責任を問題とせしめずして罪を國體の變更に歸せざるべからず。

所謂天下民を降し、之が君と作し之が師と作す、支那の神聖相傳せる立國の大本たる王道、其體たる中を體験せる者が有徳者なり、其徳は位に在りては皇極と云ひ、君と稱し、此大本の教に在りては之を中庸と云ひ、其位を得ざるものを師と稱せり即ち君と師は名を異にするも、實は一體なり、從つて治と道も亦同一なり、即ち君一體たる所以此に在り、即ち君一體たる所以此に在り、歐洲の如き宗教國に於ては政教一致の弊多く、分離するの已むを得ざる理由あれども、儒教は宗教にあらずして王道を大本とせるを以て、支那に於ける政教分離は到底國を治むる所以とならず、況んや歐洲の如く政教一致の弊甚だしき國に於て猶且つ政教分離の結果は、遂に道德の中心的核心を失し、國內道德、國際道德兩つながら破壊され、併せて物質萬能の弊に陥り、更に民族相争の禍を生み、支那文化の輸入を求むるの傾向を招きしにあらざるや。

苟くも師道を説く、須らく君道を高調して始めて教育を云ふべし、苟くも政治上社會上の弊を説く、須らく君道政治を高調して始めて教育を説くべし (白川生)

▲王内閣倒れ又注内閣連座となり、而して未だ組閣後繼者なし、而も民間敢て此の無政府状態を憂ふるものなし、何んぞその現象の奇なりや、罷止あり罷課あり、土匪あり、而して國家紛争の途に解體あり、而も國民徒らに外交問題のみに、喧然たり、何んぞその態度の不可思議なる、已れに律せずして他を待たず、本末を謂れる歐化思潮の招來するものは遂に斯くの如し

▲凡そ結婚は萬民に共通せる事なり、其共通せる慶事の集中する、所々、即ち皇室の慶事なれば、宣統帝の慶事は萬民に慶事心を惹起せしめ、而して帝制思想を喚起せしむ、民國子が懸念する又當然なり

▲民國日報は宣統帝の婚儀に據らざる、華筆を振へり、婚儀によりて帝制思想を惹起せしめ、民衆の立場に影響するが爲めならん、況んや英國は保守黨の天下となり、伊太利はフランス圏の天下となり、最早國家主義の時代となりしに於ては、内の紛亂と外の恩恵と相照せり、此の御結婚は勢ひ帝制思想を導火線ならざるを得ず

● 資本金 壹億圓拂込済
● 積立金 六千五百萬圓

支店 神戶、東京、大阪、名古屋、長崎、下關、倫敦、里昂、漢堡、シドニー、紐育、香港、上海、天津、北京、青島、濟南、漢口、天津、北京、牛莊、大連、奉天、開原、長春、哈爾濱、瀋陽、浦斯、德、巴、タ、ビヤ、スラバヤ、グヰネ、ア、イ、レス、リオデジャネイロ

上海黃浦灘路三十一號

● 橫濱正金銀行
電 支店入席三〇〇〇
電話 係三〇〇〇
輸出係三〇〇〇
輸入係三〇〇〇
預金係三〇〇〇
納保係三〇〇〇

● 資本金 六〇、〇〇〇、〇〇〇圓
● 拂込済 四五、〇〇〇、〇〇〇圓
● 積立金 一一、〇八〇、〇〇〇圓

● 本店及出張所
臺北、臺中、臺南、基隆、嘉義、高雄、宜蘭、淡水、新竹、屏東、花蓮、臺東、澎湖、東、東京、橫濱、大阪、神戶、香港、廣東、汕頭、廈門、福州、九江、漢口、新嘉坡、泗水、巴達維亞、其他各所、取引先アリ

上海黃浦灘路第拾六號

● 臺灣銀行
支配人 柳田直吉
支配人席 一、三三二
輸出輸入係 二、一六三
預金、送金係 三、四八〇
來客專用 三、四八一
買辦部 二、四八一



週要聞報

羅文幹事件後の政局

搆陥と賄賂の慣技

(一)

羅文幹賄賂事件は羅が罪あるか、罪なきか自から解決するに道あり、決して問題にあらざれども、之が政局を攪亂する導火線となりしを以て問題とせられたるのみ、然るに盛んに新聞種子を作りし羅案なるものは本來政局攪亂の導火線なりしだけ、羅案其者に對する問題は轉じて、洛陽派の敗に歸し、王内閣は遂に倒れ、汪内閣繼起するに至り、羅案の一齣によりて吳佩孚(洛陽派の首領)が退讓せるは、其態度や頗る鮮かなるが如きも、退讓は飽く迄退讓にして、而かも其退讓が本來餘りに勢に乘じて天下を私せんとして動機より出でたる即ち已むなき退讓たるに至つては、吳の退讓は實は屈服を意味し、從來世間より歌はれし流行兒たる吳佩孚の男振りは大に下落せり、既に男振りを下落せる以上、政治的歸向心は變らざるべからず、歸向心變れば吳の將來は益々非なりと云はざるべからず、吾人の所なし、天津派の行動は論するまでも謂登場人物の破産期に達せる首領株を例外に放たれたり云ふべく、若し今日のものに於て進まば、吳の再々内閣維持の聲明を發せし日對黎總統は容易ならざる事、恰かも一度失敗せし段祺瑞一派安福系が幾度立ざりたんとするも能はざる同一轍となつたが如き、但し又一方より考ふれば、吳に於ても河南地盤なかりと云ふべからざるも、湖北蕭耀南すら從前の如く吳に忠ならず、江蘇齊燮元に至りては全然保定派に歸服し、馮玉祥亦吳と反目し、北京檢閱使に轉

(二)

任するの已むなきに至りしに於ては吳は宛然孤立の状態に在り、到底奉天張作霖の如く鞏固なる地盤を有するものも比較すべからず、要するに王内閣は羅案を導火線として倒れて汪内閣は出でたり、即ち保定派内閣も出來ず、一種の國會を調和し同時に保定洛陽を調和すべき内閣は生れたり、換言せば純粹の洛陽王内閣は倒れて各派混合の内閣は生れたり、然れども思を共にするも樂を共にするべからざる各派混合内閣が能く纏まらざるは火を賭るより明白にして、今後復た混沌として無政府状態を續くるや必せり、然かり而して吾人は其後汪内閣に至る迄の経緯を叙せざるべからず

(三)

羅文幹事件は前述の通り、よしそれが總統問題に關係あるにせよ、洛陽に總焉たる保定急進黨天津派が洛陽に對する牽制策として、王内閣を倒壊すべき手段たりしは云ふまでもなく、天津派の行動は論するまでも謂登場人物の破産期に達せる首領株を例外に放たれたり云ふべく、若し今日のものに於て進まば、吳の再々内閣維持の聲明を發せし日對黎總統は容易ならざる事、恰かも一度失敗せし段祺瑞一派安福系が幾度立ざりたんとするも能はざる同一轍となつたが如き、但し又一方より考ふれば、吳に於ても河南地盤なかりと云ふべからざるも、湖北蕭耀南すら從前の如く吳に忠ならず、江蘇齊燮元に至りては全然保定派に歸服し、馮玉祥亦吳と反目し、北京檢閱使に轉

の自由操縦に因るものにして、其の背後には洛陽に好からざる馮玉祥あり、刺さへ最近總統運動に關し、直系有力分子の一致脈絡ありて洛陽を截然劃分せり、即ち少し煩雜なるも直隸各督軍の態度を記せば

第一直系の有力なる王承斌は吳佩孚に打電して云はく公は政局に對し張作霖の後塵を歩み王内閣の保證者となれるが我等は北洋の名譽の爲め大師の威望が公一人の爲め犠牲にせらるゝに忍びず暗に警告を與へ向一方王承斌、馮玉祥、齊燮元、馬聯甲及び蕭耀南等直系有力分子は羅文幹事件を機として、曹錕擁立運動を企圖し、張作霖、孫文すら諒解あり等と宣傳し、吳佩孚の反感をも介意せざるに至り

茲に於てか、勢ひ羅案は益々大架梁に展開せざるべからざるや必せり即ち二十五日吳景濂は馮玉祥に對して羅の罪狀を通告し又二十六日黎總統は該事件の経緯を布告して自然に反洛陽督軍連の喚起を齎せり、直系督軍は斯くの通りなるが尙其の他洛陽水師の如く或ひは張錫元の如く豫て洛陽に嫌焉たる連中擧げて現内閣を攻撃するに至り、更に又曹錕は法定組織案を提出して羅案の審査をなすべしと主張し、一方天津系は二十五日率先して張民、一方天津系をのけき大いに輿論の喚起に力めたり、或者はその間種々の證據書類を摘發せる等方めて大問題となし特に、王承斌の如きは曹錕の廿八日附通電を根據して強硬の態度を示し又天津派の爲め景氣付けせり、尙又天津派は宣傳して曰く天安門には服裝を整へ、王羅孫高の排斥を呼び某報の散紙を攻撃したり指揮者は帝制案なり、民八議員陳則民は廿四日辯護士三人を同伴し訴狀證據物件

を携げて檢察廳に赴き羅文幹を訴へ漢國借款を述べ國家損失三千萬なりとて公訴を請ひ、檢廳は査査を許せり羅案突如反し其の文は黎未だ押印せず吳景濂は羅事件の爲の梁啓超を電責し宜しく尾を泥塗に曳き龜龜と伍を爲すべしと云へり

斯くの如く吳佩孚は殆んど孤立の状態にして如何とす能はず、加ふるに時局は尙彼に取て非なる者あり河南の土匪、奉天派の現勢、福建問題等悉く意の如くならず、更にその最も信頼せる第三師の將校連が吳佩孚に對し、現内閣を擁護して曹錕に反對する態度を取らざるやう勸告する等實に吳佩孚に取て護歩の外一步も進む能はざる立場となるに至りしなり

(三)

斯くて國會は天津派と共に愈々積極的態度を持するに至り、即ち羅案に一步を進めて倒閣の實行を即ち明らかに廿五日王龍惠顧維鈞の查辦案を決定せり、勿論約法上參議院の通過を経ざるを理由として二十五日の開議は一應之れを拒絶せりと雖も大勢既に如何とす能はず左の如き通電を發して閣員全部總辭職を決定するに至り

王龍惠の通電に曰く廿一日の通電御覽なりしならん羅案は本參議院の解決を俟つて辭職せんが善しに立るに辭職せば現狀維持に差支へざるが爲めなり然るに事願と違ひ羅案發す余等は自問正軌に由り、余等は實に維持の力なき既に總統に免職を予へんとする態度なり今日より部院に出頭せず若し羅案の結果が余等牽涉する處あれば仍ほ身を束縛して結果を以て決て遊移せず合併聲明を發表せられ

斯くて洛陽系とも見らるべき王内閣は廿五日倒壊するに至りしが廿九日正式内閣出現するに至るまでの経緯又頗る注目しに價ひすべきものあり曹錕の總統實現てう大なる企圖の下に製造される今次内閣は當に保定洛陽間のみを確執や妥協等によりて濫造すべく時局は之れを許さざる者あり各方面の緩和的方法として適當なる内閣を捻出し、然る後總統運動を實行する即ち遠大の策を樹てざるべからず、之れに就き廿七日總統府正式内閣出現まで高凌霨をして代理内閣を組織せしむる事に決したれども高は國會保定方面を慮りて肯んせず、次いで李鼎新、張紹曾に及びしも何れも辭せり、然るに一方急進黨の天津派連中は洛陽系の色彩を有する孫、高、共に入閣を許さずと主張し特に二十五日の北京電報に據れば吳景濂は張に代理せんと求めしが黎は考慮すと答へ二十五日右派の左右は集議し吳の廿四日の電報の態度を以て緩和し且曹錕の主張に賛成せり是れ曹錕擁立せるなり即ち公府は何んを必ずしも洛陽を敵を爲すの要あり有るなる公府の方針を定むること、せりと云ふ有利なる公府の方針を定むること、せりと云ふ

斯くの如く其間種々の問題起り黎元洪は顧維鈞を招きて相談せんとせりも顧は應せず、顏惠慶には吳景濂の反對あり、周樹模の主張者ありたりと周は憲法制定まで出陣せずと云ふ、遂ひに奉直議の關係よりも新雲鵬最も可能なりとして推舉せるが斯は肯んせず、遂ひに益友政學系會議の結果混合内閣製造に最も適當なる今次汪大燮内閣を捻出すに至りしなり

(四)

汪内閣の前途に對しては既に幾多の論評あるも記者は本文冒頭に記載せる通り問題にならずと思惟するが

The Bank of Chosen.

上海南京路第七號

朝鮮京城南大門通

資本金 八千萬圓

積立金 五千九百萬圓

株式會社 住友銀行

上海九江路五號

電話 二三三一(支配室) 二三三二(營業用) 三四六六(貸出用) 三三六六(倉庫用) 中央

諸積立金 貳千參百拾萬圓

資本金 七千萬圓 (內拂込五千萬圓)

本店 大阪

支店 東京、橫濱、名古屋、京都、大坂、神戶、兵庫、尾道、新居濱、吳、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布庄、桑港、孟買、漢口、シヤトル、紐育、倫敦。

朝鮮銀行 上海支店

總裁 美濃部俊吉

電話 中二三九四 中二三九五 中二三九六 中二三九七

支店 東京、大阪、神戶、下關、橫濱、名古屋、京都、大坂、神戶、兵庫、尾道、新居濱、吳、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布庄、桑港、孟買、漢口、シヤトル、紐育、倫敦。

故に此所に繰り返へすの煩を避けて唯其の状態を記すことに止め、即ち三十日申報所載の電報之を盡せるを以て左に示すこととせり

北大混全主義を採用せり、即ち西南の李彭の如き遠てられず、交通を以て洛陽に集り、財政を以て保定に屬せり、汪は暫時兼任に過ぎず、汪は進歩系、李は保守系、彭は老練、張は保定派、王正廷は豪友、許世英は政界、孫文孫洪伊及び奉天に對しては未だ理會せざるを除けば均し餘瀝を對せたり、外論に政事を尊重するの嫌ありとせり、黃報は新聞に對して大いに擁護して天津派の態度を探り、各報は新聞に對しては懷疑を與論の有所を知るべし新聞間は紫が専ら獨斷し各派をなしか色を平せしめたりと云ふも實は湖北籍某元老の建議する所に依る、方針は議員と聯絡せざるの機に乗じて入るに在り、遂に頗振を定めたり、天津組は此の事に預り聞がず、紫は王正廷彭の手に下し僅かに曹錕に二職務部長を推薦せんことを請へるのみ汪の財政總長兼任は本人は事前同意を得しに非ず、許世英を司法に移せるは安徽の政潮を調停する爲めにして紫は本と垂蕙藩を安徽省長にせんせり、馮玉祥は軍統領を兼攝し李根源が農商總長となりしは航空を與へざりし願を立つる爲めなり、彭の教育總長は其議員除名の冤枉を慰藉の爲めなり、王正廷の外交は山東案の結束する關係に因り、紫は何れも對ると云ふも各方面は皆快しとせす、新聞の形勢は甚だ確立し強め、而して吳漢濤派は内閣を倒して得る所なき爲め大いに難き、紫に向つて再び色回手段を施さんせし、能はざれば天津組を協助し復職在期問題を談判し政潮正に多し、紫は口には某元老の請ひに従つて議員に面會せず國會者し表示あらは政府に善達せんことを請ふま告げしめり

最後に此の稿を草し終るや汪内閣は一日辭職せりとの來電ありたるが、その真相は尙後報を待ちて次回に記載すべきこととせり

日支山東案の其後

▲王正廷の呈文

山東案は其後進みて我帝國は青島守備軍は十二月二日を以て全部撤退すべく、同條例並に民政部條令は同日を以て廢止することに決議せるが王正廷青島受取期日迫せるも政府が膠澳商埠督辦を尙任命せず自身も目下には交渉多忙にて青島退出馬山得ざるため、魯案會辦を兼任した熊山東省長に青島受取に關する一切の準備方を依託する事に決し、其趣を總統府に申請すると共に熊省長にも二十六日附電報を以て青島に赴かん事を請ひたりと報せられたるが、總統に對する呈文の内容は左の如く報せらる。


- 一、支那委員の鹽輸出協定案修正意見に對し日本委員反對す
- 二、支那委員提出の礦山處分案に對し日本委員は其の保護額資本分擔額運賃其他に反對せるが懇談の結果雙方意見接近し結局日本委員は書面にて答ふる事に決す
- 三、支那委員より海底電線處分及土地處分の最後對案を提出す
- 四、山東沿線保留財產問題 沿線開放地決定後之を解決す
- 五、公有財產 郵電 埠頭鹽業各項補償價格問題 日本委員は日金千七百萬元の妥協案を以てするも支那委員は千四百萬元を主張し解決に至らず
- 六、日本委員は鐵道評價の答案及び獨逸財產の現存價格に關する反駁書を提出す
- 七、鐵道評價問題 支那委員は總額銀二千七百萬元を提出日本委員は妥協討議の基礎として右金額を採用するを得ずと主張し決定に至らず
- 八、礦山補償額問題に關し意見交換を行ひ次回に礦山問題解決を計る
- 九、公有財產鹽業補償額及其の財成條件に就き意見交換を行ひ次回より右總額決定を議すべき事を約す
- 一〇、礦山の諸問題 日支合辦會社に對し日本政府は日金五百萬圓を支出すべし但し無利息にして會社が純利益年八未を超過したる時益超過の半數を日本政府に納付する事とし會社組織に關する諸件は雙方間大體意見一致す
- 一一、青島土地所有權問題 日本は永租權主張を固持し支那側は僅に獨逸膠澳租借年限以内無償借地を許すに留り協議一致せず、爲めに懸案がし將來兩國政府間にて解決する事に決す貸下地は現在の期限満了後三十年借地權を許す事と爲れり
- 一二、青島佐世保間海底電線問題 討論決定せず
- 一三、第一委員會の問題は全部解決し明三十日午後四時調印の豫定なりかくして第一部は十一月三十日支那方委員より記名調印せり

に支那委員は銀三千二百五十萬圓案を提出し日本委員は四千五百萬圓を提出し解決に至らず
二、鐵道引續き準備委員は左の如く決定せり
日本側 秋山雅之介外九名
支那側 顏德慶(一)外九名
第一部第四十九回(二十八日)
一、礦山問題全部決定す
二、支那委員は左記三案を提出せり
甲、損害賠償問題は速に兩國政府より委員を派し議決すべし事
乙、青島に於ける外人經營の農地地回收辦法
丙、既得權問題に關する提案の解決辦法
三、公有財產及び鹽業各項の補償額支拂方法並びに擔保利息等の問題を熟議意漸く接近す
第一部五十四回(二十九日)
一、海底電線問題全部解決
二、公有財產及び鹽業の補償總額は日金千六百萬圓に決定し國庫證券は年利六分にて解決す
三、第一委員會の問題は全部解決し明三十日午後四時調印の豫定なりかくして第一部は十一月三十日支那方委員より記名調印せり

一週一言

爭則死

今日は登場人物の争ひの天下なり其争ひは欲求に由りて起る、争へば死す、其然る所以は國に主なきが爲なり、天は登場人物を死せしむべきを争はしむるものと違離し、天が聰明を生みて、之を安んずるの時あるを待つ、是れ支那民衆の心なり、怒なる哉、天の道、悠なる哉、支那の民



株式三菱銀行
上海九江路貳號
電 支配人席 中五三二
營業室 中二九六四
電話 營業室 中三三三三
買辦室 中三三三三

本店 東京 九之内 深川 日本橋 大阪
支店 中之島 船場 神戸 三宮 京
都 名古屋 小樽 倫敦 紐育

資本金 壹 億 圓
拂込済 六 千 萬 圓
法定準備金 別段 參千參百九拾萬圓
積立金

上海九江路四號

株式三井銀行
電話 支店長室 中一三八六
營業室 中二九七〇
買辦室 中二八七四

本店 東京
支店 東京 小樽 大阪 西
横濱 大板 中 大阪 中
神戶 廣島 京都 門
福門 岡 名古屋 關

兩廣の形勢

兩廣の形勢は混沌として定まらず、廣西は幾派に分れて、纏むる能はず、之に對し陳炯明が取れる方針も更らに定かならず、今後如何に展開するや、今日の處全く測度すべからざるに似たり、十一月二十三日の香港電報によれば陸榮廷の勢力振はざるもの、如く報せり、即ち廣西に於ける今後の軍事行動に關し陳炯明及目下廣東に在る舊張開儒部下雲南の軍首聯袂袁將與亮と協議の爲め來廣せる劉震寰は語りて曰く

陳炯明は差當り福建方面は消極的防備に留め許崇智軍の南下に先だち軍隊を西部方面に集中廣西に於ける反對派を出來得る限り切崩さるが爲め同方面に對し積極的行動を計るに決せり目下梧州に集中せられたる廣東軍は一萬有餘に上り

軍は楊希閔、蔣興亮の雲南軍と提携して不日行動を開始すべし楊希閔等の希望は廣西に地歩を得て雲南に歸らんとするに在り修械廠が雲南歸還を焦り居るは事實なるも楊希閔等舊雲南軍の阻止する處となり目下の處問題ならざるべく

沈鴻英は再三に對し提携せん事を求め來るも余は之に應ずる意思なし沈の兵力は八千と稱せしむるも各地に分散され居るを以て恐るゝに足らず陸榮廷林俊廷等の勢力は甚だ振はず陸は最近屢々使節を派し余に交渉の電報を來れり云々

然るに二十八日の電報に據れば陸福祥左の如き通電を發したりと傳へたり

柳州を占領して砲四門小銃千餘、銃彈無數を奪取せり沈鴻英の第三旅軍は潰散し何才傑は維容縣に逃じし現に沈軍の軍容消滅せり陸榮廷、林俊廷は此の勝報を聞きて劉日皇に打

電して速かに桂林を進攻すべしと命令したりと

又同廿九日の電報は報じて曰く陸福祥は朱德部軍に長安に退出すべく命令せしむる朱は承認せず陸は遂に攻撃せり激戦の後朱部軍は傷死せる者一千餘、二十五日何才傑は黃鴻の援助を得柳州を襲撃せり沈部軍李易標より陸福祥、韓彰鳳の敵を受けた後十六日尙激烈に混戦中なりと

林俊廷は二十五日打電して曰く沈鴻英は老師に背叛す、神人共に憤る所なり陸福祥の一戰柳州を克復し再戰二三三四兩日羅城、柳州、象州各縣を占領す、逆衆數千維容に收退せり、尙別報に據れば陸榮廷は南寧に在りて會議を開くべしと

廣東と福建問題に至りては陳炯明は陳聲民を汕頭に遣はして李厚基と協定せしめ、翁式亮或は鐘景堂を廈門に遣はして臧致平と接洽せしむることにせりと傳へ、薩鎮冰は二十四日附を以て廣東駐在艦隊に打電して福建救援に赴くべし命令せるが、温樹德は數度福建に派遣して救援するに決せりと傳へ、廣東と福建關係は差したることなし、福建亦各派に分れ積極的の事は何事も出來ざるを以て、此處何んども發展を期待すべからざるが如し

變して道に至らば、變が復辟となるを以てなり、民國の藍本たるものは、之を畏れざるべからず、果たせば、孫文徒の機關紙たる民國日報は、禮の人と題し、溥儀結婚に宣統皇帝の儀制を用ひる民國人民は禮を送るべきにあらざる平民の儀制を用ひるべしと報じたり、此等の電報より察せば氣運が漸く電報に現はれ、自然の氣運が爾かく電報に現はれたるものと察せらる、蓋し新文化運動に對する反抗運動出で、尊孔思想高調なるに當りては、已に齊一變して魯に至れると等しく、此上一

清帝御結婚と民黨

宣統帝御結婚に就き、何ぞなく氣圍氣は脚下の民國を呪ふよりして清朝を思はしむること、なれり、又昨今は袁世凱時代の如く權力の地方に及ぶ場合にあらすして中央を恃むものなく、地方官權力亦其地方に及

制憲の急を説く

十一月二十四日正午濟南旅途に在りし駐米公使シユルマン氏は爲め不可能となり明春を待つて最濟南各團體より招待され席上左の如く非但も往きては濟南問題が解決せしむるに、米公使は由來吳佩孚に望みを屬する、人と傳へるが、吳も亦憲法制定を先にする主張者なり、然るに保定派及益友政學會派の爲めに祝賀す本日此席に在る人は國會を維持するには是非とも憲法は省議會商會律師報界等の團體及び有力者が實に多數なるが一談話すること能はざるを遺憾とす依つて茲に一個の問題を提出して諸君の眞正評を請ふことと先づ中國の應行其の眞正民意を以て政府を組織せしむることを勸む、米國は中國と相似たる事情を諸君に述べ、前に米國政府の供せんこと、米國が今日の眞正の民意政府を築き得るまでには幾多の艱難を経たり、其艱難の經過と云ふは恰か現在中國が嘗めつ、ある艱難が同同じきものなり、明かには區別する事あり民意政府あり、政府に區別され居るが國家と云ふものは必ず武力を用ひざるべからざる地方もあるが、米國は純然たる武力不用の國にして國內には十五萬人の軍隊あるのみ歐洲戰爭中五百萬人に増兵した

全國商聯合會の通電

支那の現状に對する通電

漢口全國商聯合會は由來喧嘩騒ぎとなり、廣東代表等服せず、漢口代表三十餘席を占むこの不平あり四川代表は入京して此事を訴ふるなどの事あり及、兎も尙同會は十一月廿三日の特別會議を開きし結果、二十四日全體の名を以て長文の電報を發せしむるに軍團排除憲法速成財政監督の三項にして(一)軍團排除の爲め裁兵監督員四名を擧げ政府及び督軍の裁兵實行を勸告する事(二)憲法速成の爲め國會に向つて民意に従ひ之が速成を促す事(三)財政監督の全國銀行團にて監督機關を設くる事にして同時に監督政府に對つて裁兵實行進軍輸入を停止する事(四)財政監督員確立する迄借款を停止する事(五)山岳排生三人は此意味を漢口各國居留民大會に口頭を以て轉達することと云ふなり

中華匯業銀行

電話(支配人室)一九四六
中央一般營業部 五六一一

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉強可仕候に付引立の程奉願上候

資本 壹千萬圓

▲本店 北京

▲上海支店 江西路四一號

▲支那の現状に對する通電

▲本 店 壹千萬圓

▲上海支店 江西路四一號

▲支那の現状に對する通電

▲本 店 壹千萬圓

▲上海支店 江西路四一號

資本金 五百萬圓

拂込資本金 百二十五萬圓

本店 北京

大東銀行

上海年浦路第一〇九號
電話(二九六二)

儲蓄部兼營業

獎勵券發行

詳細は御申越次第營業案内送呈



沈子培翁記聞 (一)

余は沈子培先生の門に入り、其業を受くる... 多年、先生は吾りて余を愛し、至つて余に望む所があつたけれど、性業種管の余であらから、先生の旨意深き教は余に到底發揮し得る所でない、故へて沈子培翁記聞と題し、余が業を受くるに當つて、教はつたことを思ひ出づるまゝ、之を筆にすることにし、蓋し清末遺老中の冠たる翁の學問識見を紹介することは、必要にして且つ有益である。尤も先生から教はつたことは拙著支那思想と現代'内に於て已に紹介したものであり、重復するけれど、あれは余の評論に引用したので盡さざる所あり、旁々一括して紹介するに必要上、己を得ない次第である、又

支那の民性族 (一)

ベルトランド、ラッセル

著作権保護 コンテンツ

陳人海自由界限永世不変明在... 一切支那一新新

曰放勳、欽明文思安安、允恭克讓、光被四表格干上下を教はつた時、先生曰く、是れ説く迄もなく、堯の得を頌したものであるが、安安は注にある通り勉強する所がない、堯の徳性の美を云ひ、其の皆自然から出づるの意、所謂矯枉過正ならざることである、所謂矯枉過正ならざることである、支那民族は此安々思想があるから、歐米人の如く自然を征服することが出来ない云ふものがあらうけれども、これは、物理を辨せな

尚ほ先生の遺想と筆蹟を掲ぐることを思ひ出したのは、讀者と共に亡き先生中の撮影で、筆蹟は一昨年余が論語を翻介するに、必要にして且つ有益である。尤も先生から教はつたことは拙著支那思想と現代'内に於て已に紹介したものであり、重復するけれど、あれは余の評論に引用したので盡さざる所あり、旁々一括して紹介するに必要上、己を得ない次第である、又

支時事日誌

- ▲商聯大會長、舉發激しく再延期となる
▲黎總統は遂に羅文幹の釋放命を宣布す
▲國務院は衆議院決定の羅文幹查辦案を拒絶す
▲陳炯明は歐派平に對し提議條件として李厚基軍編案を提出す
▲直隸督軍の湖北軍事會議は長江聯防協定及び對浙江策を圖る。
十一月二十五日(七)

- ▲洛陽の羅文幹保護態度に對し保定派一致反對
▲商聯大會長は河南匪害事件に就き特別會議開議
▲陳炯明對魯豫兩省政策協議の勢を將領召集
▲日支共同委員會支那側の獨逸遺留財産減損額案提出に激論せり。
十一月二十六日(八)

江商株式會社 上海支店 代理店
取扱品 棉花 綿糸 綿布 生糸
上海九江路五號

營業科目
銅及真鍮板、管、棒、線
銅鋼鐵管、釘、鋸及鐵線
各種被覆絶縁電線、電纜
鑄鋼品、鍛鋼品並諸機械
鑄山用各種機械器具
人造肥料並硫酸、硝酸
石灰

住友會社上海洋行
上海九江路五號
支配人室 中四六一九
營業室 中四六一二
夜間用 中三三三六

支那文學通論 (三)

劉永濟

西本白川著

四六版 五百頁

平川清風著

菊版 八百七十頁

山田岳陽著 四版六二三百六十頁 正價壹圓五十錢

西力の東漸と支那

支那思想の根源

第九條 明禮讓以原風俗

▲漢儒曰ふあり、凡そ民は五常の性を函して而し其剛柔緩急皆同じからざるは、水土の風氣に繫る、故に之を風と謂ふ、好惡取舍動靜は恒なく、厥情欲に隨ふ故に之を俗と謂ふ、其間淳薄厚薄は以て同を強い難し善惡文は一致する能はず、是を以て聖人制して禮を爲り以て之を齊ふせり孔子曰く安上治民は禮より善きはなし、蓋し子禮は天地の經にして萬物の序なり其體は至りて大にして其用は至りて廣し、道徳仁義は禮に非れば成らず、尊卑貴賤は禮に非れば

(三)

定まらず、冠婚喪祭は禮に非れば備はず、郊廟燕喜は禮に非れば行はれず、是れ禮なる者は風俗の原なるを知るなり、然れども禮の用は和を貴しとし、而して禮の實は讓に存す、子曰く能く禮讓國を爲す何かあらんと、又曰く之を先んずるに敬讓を以てして而して民爭はず、徒らに繁文縟節に習はしめて實意の以て之を將ゆるなれば則ち禮なる者は適以て其浮薄を長ぜん其文節を溢くするに足る、夫れ禮の節文は爾兵民政は未だ盡く習はず、禮の實意は、爾兵民自ら具する所即ち父母に事ふるが如きは則ち孝に當たり、長上に弟なるは則ち慈順に當たり、兄弟の友愛あり、朋友の信義

(三)

ら之を有せり、禮讓は外求を待たずして得る者なり、誠に能く和以て衆に處せば卑し自ら牧し、衆に在りては長幼老弱親疎に歸す、僥倖の戒を犯すす毋く、遂に攘奪を成す、一時の忿を逞ししを、紛争を啓くに至る毋れ、貧富異形に因りて蔑視するの念ある毋れ、強弱異勢を見て逞むの心を起す毋れ、各澆漓を戒め共に長厚に歸せば則ち禮に備ふ者悖行なし、讓に教き者は競心なく、讓然思あり、秩然義あり、黨序、相率んで俊良とす、農工商賈は稱徳たるを失せず、

(三)

て其剛悍樂驚を潛消す、豈に大和の氣、大順の微にあらざらんや、書に曰く謙は益を受く、禍は損を招くと、古語又曰く終身路を譲り百歩を枉ありて失なきを知るべきなり、此の如きは朕が求むるを願ふ、爾能く其心を和らけて以て人を待たば、則ち和とさる者は自ら化す、爾能く其情を平にして以て物に接せば則ち不平者も亦自ら化す、一人之を倡へ衆人之に従ふ、一家之を行ふて一里之に効ふ、近きに由りて以て遠きに及び、勉に由りて安きに至る、漸仁漸義、俗厚風

著作権保護 コンテンツ

品質精撰

- 醫療用藥品
- 醫療用器械
- 醫療用繃帶材料
- 理化學用藥品
- 工業用藥品
- 玻璃藥瓶各種
- 諸大家賣藥各種
- 美容化粧品各種

廉價販賣

日本麥酒株式造會社總店
代理店
上海三井洋行
電話中四九九〇

ルビヒサア



上海文路第一號

山口商店

(電話北五四四)

上海路華文
西德角



社 會

時局滬聞

紙幣印刷の制限案 北京政府は支那各地の各銀行が紙幣を印刷する場合は印刷局に依頼して紙幣を重んずべきことを告示してが實際各銀行紙幣及び錢局の紙幣を印刷するに際し印刷局に依頼するものは十分の三四に過ぎず其餘は從來の如く勝手に各印刷所に依頼し居れるが印刷局に於ては斯くては同局が營業上損失を蒙るのみならず且つ偽造濫發の恐れあり國家財政の前途に影響するが財政部に對し取銷方を要求したるが印刷局に依頼するものは幣制局に印刷するに依りて米國の印刷會社及び私立商店に依頼すべからざるの訓令を發し上海縣知事も各銀行に通告するや此旨通知し來り

廣東銀貨差押交涉 上海に輸入する二十仙新銀貨の輕質のもの多かりし爲め上海總商會の呈請により海關に取銷を嚴重にして以來廣東のものも最近に於ては輸入改良のごとくなり市上に於ける輕質廣東二十仙銀貨は安海等の各銀號ともものなり近日上海の昆興等の各銀號は廣東より良質銀貨數十箱(内昆興のもの十三箱約四十萬枚)を輸入せるが海關は之を差押へ廣東より輸入せる小銀貨は新舊のもの間を一切輸入を禁ず前清時代のもの(龍紋のもの)を承認することを許すは此の取銷新章を知らざりし爲め近日廣東より輸入せるもの七十餘箱を下らす何れも海關に差押へられ居

李烈鈞二十日來滬 香港に養病中なりし李烈鈞は十一月三十日來滬して虹口萬歲旅館に宿泊せり尙一説には法租界馬路某號邸署新居に近日中遷るべしと云ふ親近者某の言に據れば李の病恙は既に全癒し今回香港に在りては歸省自治主義に賛意を表示せりと云ふ

新稅則實施の延期 新稅則實行期は十二月一日の豫定なりしも關係各國の正式承認を確定せざるた

悼沈翁 順天 橋川 德業文章一代優 講經以外道之憂 奈何天不遺斯老 竟作九蒼跨鶴遊

讀書 太堂 其人與乾坤自好述 陰晴風雨又悠悠 慎微五鼎惟度理 百學無時無所休 程程須看樓大 堂堂堪仰歐陽牛 經綸况有文章好 千古偉勳思遠猷

冬 其二 山川跡絕萬家秋 草木蕭條白雲愁 風色如斯人不樂 傷心一夜醉高樓 其四 自笑其鄉思壯遊 未知萬里發難離 任他窗外北風急 艤艇向唯說去留

法權回收運動近訊 本埠支那市公廳の公廳に就きては廢報の通りの數日運動し急に積積的となり去る廿七日各馬路商界聯合代表七十餘人又此事に就き開會せり其代表は會審公廳の歴史に就き演說し尙其收回の理由を詳細に陳述せり次で清朝同治七年上海洋關設置官會審章程訂立の譯文を讀み此間に亘りて討論したる結果各馬路商界聯合會の義名にて左の如き意味に決したり 法治の精神は獨立する

於て貴しとなす 上陸前清同治七年の各國設官會審訂立條約は華洋の訴訟に對して各專條を以て領事陪審のみとなり 特に辛亥事件以來會審に籍口して領事代官に承認せざる(中華民國)は未だ各國の承認せざるに以て支那人は之れを己の承認後十一年を經るに今日既に正式の會審制度あるは實に我が主權を侮辱するものなり須らく各國公使に嚴重交渉し以て本國に轉達せしめて速に解決すべきなり 並びに同治七年所訂上海洋關設置官會審章程文を十萬部印刷して各地に配送し以て輿論を喚起せしむることせり

輸送隊の運送阻止 福建に於る廣東軍が同地にて人夫の募集困難なる爲め上海にて游民を募集し輸送隊を組織し福建に送らんとせるに對し在上海福建人等はに對し福州の乘船を阻止したるが之に對し福州の黃大偉は福建の各團體に向つて輸送隊の福建行を阻止せざらんことを求むる電報を寄せるが福建の各團體は廣東軍が輸送を要せば海軍陸戰隊の福建入りにも反對したれば今次若し阻止せざれば各方面に口實を與ふる事となすと返電せり

國民保衛會の成立 國民保衛會なるもの組織され十一月二十三日夜十品中にて宴會を開き上海來會者五十餘人にして(一)商辦招商會は決して交通部の非法國有收銷を許さず(二)國民の資格を以て支那航業の發達を督促し以て歐米各國並駕齊等を決議せり

交通部の電報差押 北京財政總長羅文幹事件發生後總統府保定通總長高恩洪は前日上海電政沈監督に對し凡て統制府保定三方面の發出する政潮に關係ある電報は差押せしむと命じたり上海某當局は此を開知し電報局に對し妄りに差押ゆべからずと申し込めり

齊齊軍と蘇浙關係 江蘇督軍齊燮元は近頃北京天津上海漢口の新新聞に浙江蘇浙兩省の關係怪しく各江の形勢變せんとするか或は蘇省鎮守使朱恩昭が命令に反抗する爲め其の更迭を北京に電請せり或は朱は戰爭の準備をなし既に宮邦鐵を先鋒とし部下軍隊を蘇州常州一帶に分布せりとか報せるも何れも捏造説なり蘇浙兩省は唇齒相關し軍民親睦し居り又朱鎮守使は江蘇にあること十年に近く地方の感情融合せり更迭を求むる理由無し此等の後言を信ぜざらんことを希望す各處に解釋電報を發せり

何豐林と羅文幹案 松瀨護軍使何豐林は財政總長羅文幹事件に就き通電を發し財政當局の行爲を攻撃し今回澳國債契約變更に七十萬磅の舊債を五百餘萬磅の新債に改め更に六十萬磅の手金を放棄し國家の損失は數千萬の多きに至る加ふるに國會開議に提議せず總統の批准を經ず秘密に調印せり曹錕の主張を如く特別法庭を組織せり或は移轉審訊し徹底的に處分すべしと云ふ

蘇公債と各縣知事 江蘇財政廳長嚴家熾は江蘇公債七百萬元發行に就き各縣に共同して其募集に盡力せしむべきが從來の習慣に照らし各縣に引受け割を分配すること室を得るを以て此引受けに就き協議する爲め南京に集合すべしと各縣知事に通告せり

羅文幹事件と江蘇公債 江蘇財政審查會は十一月二十七日羅文幹案に關し江蘇公債も未だ法定手續を経るべき意味に於て對澳借款問題と同等に無効なりとの對電各各方面に發したりその江蘇督軍に發したる電報の大意は 羅文幹案に對して督軍の法定手續を経ずして自發したる各舉債(法)は無効を當然とす主張せるは詞嚴義正實に感服する所なり 王內閣成立して國會の同意を経ず舉債開立せしめるもの頗る多きが 他項債務所に蒙報して商律草案の編定の參考資料となして調査編訂時期は各一年二年より三年迄(其調査編訂方法は別に委員會を組織して之を

効も宜布せられたし云々と、尙又一方江蘇省議會及比宿選等王商會宛にも同意味の通電を發せり

福建省議會の通電 十一月二十六日福建同鄉會在滬は福建自治急進會長李清渠及福建省議會より來電に接したりその大意は(一)十八日華僑大會は南派兵の福建入りを拒絶することを公決せり、而して閣事は閣人の自決に因ることを聲明す、(二)費統權が公款を私し本會は海軍當道に請ひて之れを軍法會議に移交なきをせしめ海軍は未だ何等の手續なきを以て即ち輿論の批判に問ふとの意味なり

黃大偉氏の福州談 黃大偉は孫文の召電に應じ十一月廿七日福州より來滬したり同行者は蔣介石に上陸後直ちに莫利愛路の孫文宅に赴き長時間に亘りて會談したり黃の談によれば福建地方は極めて安靜にして一切の商業は既に復舊せり唯だ李厚基が數日間搜刮を極めたる爲め財政上稍々困難を現はせるを免かす目下補救の法を講じ居り軍事上に就きて云へば上杭一岸の王獻臣軍は勢ひ極めて微弱にして張清汝軍も既に改編を請はれ最早問題無人士の主張に聽すべし云々

商律編改訂の捷議 上海總商會は商律習慣を調査し商律草案を編定する案を漢口の商務聯合大會に提出したるが其費用は外國專門家招請等の爲め四萬元を見積り大綱は左の如し

(一)編查方を設立し各省商律習慣の調査報告を彙集し商律草案理由書を編訂し省事務所に報告調査處設け各商會の商律習慣調査報告を彙集し外務省事務所に蒙報して商律草案の編定の參考資料となして調査編訂時期は各一年二年より三年迄(其調査編訂方法は別に委員會を組織して之を

支店及出張所 大坂船場、名古屋、濱松、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷院、蘭貫、カラチ、紐育、倭部、シヤトル、プエノスアイレス、ハーブル、漢堡、シドニー、スラバヤ

支店及出張所 漢口、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京

營業種目 煙草、洋紙、雜貨、其他一般 輸出入業及メロコニアン煙草 會社代理店 上海博物院路十八號

株式 伊藤商行 電話 三〇八九三 三〇八三

資本金 五千萬圓 營業科目 棉花、綿絲、綿生品生糸 本店 大坂北區中之島 貳丁目十番地

日本綿花株式會社 上海支店 上海漢口路八號 電話中央 八八七二 八八七三 八八七四 八八七五

支店及出張所 大坂船場、名古屋、濱松、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷院、蘭貫、カラチ、紐育、倭部、シヤトル、プエノスアイレス、ハーブル、漢堡、シドニー、スラバヤ

支店及出張所 漢口、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京

營業種目 煙草、洋紙、雜貨、其他一般 輸出入業及メロコニアン煙草 會社代理店 上海博物院路十八號

株式 伊藤商行 電話 三〇八九三 三〇八三

資本金 五千萬圓 營業科目 棉花、綿絲、綿生品生糸 本店 大坂北區中之島 貳丁目十番地

日本綿花株式會社 上海支店 上海漢口路八號 電話中央 八八七二 八八七三 八八七四 八八七五

經濟

支那各地及
上海經濟界

金業交易所保證金

上海金業交易所是昨年營業開始當時營業保證金として現銀十二萬圓、京銀鐵道公債票七十三萬圓を農商部に預けたる農商銀行に預入せるが右京銀たるは交通部及び北京銀行の返入れたるものなるを以て今や其の返還期限に達したれば更に他の政府公債票を返還し他票を買換ふる爲め一ヶ月間の猶豫を興へんことを農商部に要求したり

新上海民生紡織設立

黃奕住等は資本銀三十五萬圓を以て上海浦東地方に民生紡織股份有限公司を創設し農商部に註冊方を呈請したるが農商部にては長沙に民生紡織社なるものあり間違ひ易きを以て名稱を改むべしと回答し來れり

浙江興業銀行の紙幣發行

浙江興業銀行は十二月一日より十元、五元、一元の兌換紙幣を發行することとなり上海總商會に見本を送れり尚ほ同銀行は北京路十四號にあり前清光緒三十三年に設立せるものなり

紗廠棉花買入の手續

上海華商紗廠聯合會は過般北京農商部に對し毎年棉花採用に就ては或は通商口岸より買入れるは或は内地を運搬する際には尙ほ各關を経過して更に捐稅を課せられ又た産地より買入れて汽車にて運搬するものは捐稅更に繁多にて通商口岸に設立せる各紗廠の原料と較べば納稅に明かに輕重あり之が爲め内地棉花稅は全部免除されたしと呈請したるが農

支那吳服商の歸國

近日留日華工の日本より驅逐され歸國する者多く其中温州の紙傘商人最も多數にて五百人を下らざるが吳服商人は又た同國の取締嚴重なる爲め紛々歸國しつつあり近兩三日中に大阪神戸の吳服商會同調簽名四十餘人歸國し又た家族のみ先に歸したる者もあり彼等は上海着後十六日浦西棧等に投宿し福建歸郷の船を待ち居れり

棉業維持の協議案

華商紗廠聯合會は上海の棉業及び紗布交易所等は通州棉業を標準として去る二十八日董事會を開きたる結果各該所に對し十二月一日より一種細棉花の新賣法を停止し別に一種の粗棉花の受買し標準を定めて以て需供を公平ならしめ棉業を維持せんことを求むる通告を發したり

青島上海間の商業

青島は日本より支那への引渡期切迫せる爲め恐慌を來し十一月二十九日怡和洋行の汽船恒生上海より青島に向ふも其の積荷は二十四日以前のものにて二六日以後は客貨の裝運無く上海青島間の商務は既に完全に停頓時期に入り更に疑念し居れり又港せす各商家は更に疑念し居れり目下は僅かに日本商人及び外國商人の移入出品が稍や動のみなり

宜重間航路船引揚

長江上流の宜昌重慶間航路船は減水の爲め航行不可能なりたる爲め夫の爲め航行不能の花旗輪船公司宜重航路船美仁も亦十一月二十七日漢口より上海に着し瑞鎔造船廠に入渠せり

鐵道局と匯銀紙幣

滬寧滬杭甬兩鐵道にては最近市上

金融市況

自十一月廿四日上海の金融
●金銀 輸出に活況を呈す依然萎縮は棉花出題一巡と共に通商口岸少く且廈門及奧地への流出も亦漸次減少を來し一方南京杭州より移入増加と共に銀相場漸次落初七五より週末七二〇に低落す之多少影響せられたる上月末需要にて銀利利息少引締り週末一割を呈す
●銀幣 滬入 三十五萬九千兩 銀塊 米國より 六十二萬一千兩 倫敦より 九十七萬兩 同 香港より 九十六萬兩 同 汕頭より 七十六萬兩 同 廣州より 四十七萬三千兩 同 汕頭 四十四萬四千兩 同 廣州 四十七萬四千兩 同 南京 四十五萬兩 同 長春 十萬兩 同 通商 六十五萬兩 同 漢口 六十五萬兩 同 漢江 十萬兩 同 鎮江

及外國爲替

●爲替 週初結算時、支那筋みに強氣見越の爲めが落付たりは銀行筋より之を買入ひたる爲め市場割合賣止むに支那より筋目亦弱進め投機筋の賣止むと同時に市場軟弱二十十五日倫敦銀下押し市場軟弱筋の懸に何れも見送り取引散なり翌日銀塊八分の一の方反落たり南京杭州へ強氣輸出及棉花資金需要と絡み支那筋無名と強氣輸出及棉花支那金塊を賣買居る爲支那市場外不靜保必要に商内少し後銀見支那人買に出で市場引揚

編輯餘錄

●慾に從つて行くものは關死し、慾に逆に違ふものは重罰を受くるなり。それ慾は人間生活の支那下に在り、故に慾は人間として必ず起らざるべからず。人間生活に慾の必要は多言を要せざるが、所謂皮のツツル程ありては眞に人間生活を成し得るに至らずして、唯口を糊しつつ、その脚を以て自らを縛るのみにて俗世の道に迷はれたる一服八合者要らずの句を思ひ出される。又は方に安んずるが、實に就そこさいふ事同時に諷刺するが譯なり。
●改題期をこれとすは、今度の大戦以來何れも使はれるやうなり。されど世に言ふ改題期は其の時、改題期で定まりたり時はなきのなり。所謂機應應の改題なり。

前週中郵便局銀相場

(金壹圓に付)

日	銀	圓
廿四日(金)	〇	九四二五
廿五日(土)	〇	九四二五
廿六日(日)	〇	九四二五
廿七日(月)	〇	九四二五
廿八日(火)	〇	九四二五
廿九日(水)	〇	九四二五
三十日(木)	〇	九四二五

●朝鮮總督府 賣買局所管
●人參精粹
●使用に至便 携帶に至便
●本劑は朝鮮人參のエキスを其の粉末を混和調製せり
●其形細粒然も効力頗る強大
●事務家、旅行者 日常の携帶、使用に良し
●大瓶 百粒入(六日分) 大洋七角
●小瓶 五十粒入(三日分) 大洋四角
●到る處の有名藥店に販賣す

原價公表の魁

「材料の良好と製造法の如何に優秀なるか」
是非一度試みに御注文を乞ふ御一報次第參上原價表御一覽に供します

上海興業株式會社
上海九江路第五號
電話中一九九五番

紫檀 一割洋行
主 佐々木正夫
工場 振替日盛東京三三七〇番
上海總修路車中里十三號

株式東亞公司

諸藥品、織機
絹綿布、雜貨
出入貿易
上海河南路八號
電話中央 一七三四
四一一六

●資本金 貳千萬圓
●營業 各種事業ノ調査設計 及引受各種事業ニ對スル直接間接投資

東亞興業株式會社

上海出張所
上海九江路第五號
電話中一九九五番
本社 東京市麴町區八重洲一丁目 一番地
出張所 北京、漢口、上海

上海興業株式會社
上海九江路第五號
電話中一九九五番

紫檀 一割洋行
主 佐々木正夫
工場 振替日盛東京三三七〇番
上海總修路車中里十三號

紫檀 一割洋行
主 佐々木正夫
工場 振替日盛東京三三七〇番
上海總修路車中里十三號

紫檀 一割洋行
主 佐々木正夫
工場 振替日盛東京三三七〇番
上海總修路車中里十三號

紫檀 一割洋行
主 佐々木正夫
工場 振替日盛東京三三七〇番
上海總修路車中里十三號

